

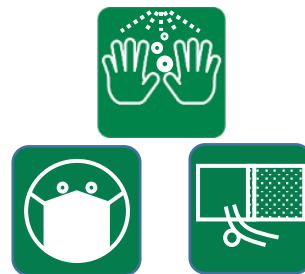
臨時  
増刊号  
No.7

福井市安居小学校 学校通信

# 安居っ子だより

令和2年 4月23日 No.8

〒918-8076 福井県福井市本堂町 4-12  
(市外局番 0776)Tel: 37-1004 Fax:37-1582  
E-mail: [ago-e@fukui-city.ed.jp](mailto:ago-e@fukui-city.ed.jp)



☆バランスよい食事と、  
☆十分な睡眠を。

4月も残すところあと1週間です。気が付くと、麦畑の麦の穂が膨らんできていました。このような緊急事態の中でも、自然の営みは静かに続いているのですね。



ある保護者の方から、この休業中の子育てについて相談がありました。「子供にどんな風に話しているかわからない。」とおっしゃるのです。この方は、学校の時間割に合わせて毎日の計画を立てて勉強させ、掃除の時間には家の掃除をさせ、家の中ばかりではよくないと外で運動させたり草むしりさせたりと、子供が飽きないように時間を上手に使って、学校の開始に備えてくださっています。それなのに、子供の反応は、いまひとつ。世の中がこんなに苦しんでいるのに…。せめて、意欲的に生活してくれたら…。(この文章は、本人の了解を得て掲載しています。)



親はこんなにも子供のことを考え、国や県など様々な機関や個人で大人たちは、子供たちのために力を尽くしているというのに、子供の反応は薄く、危機意識もなく、やる気も見せない。そんな様子を見ていると、つい「勉強しなさい。」「だらだらしない。」「手を洗いなさい。」と言ってしまいますよね。

きっと、子供たちも大人と一緒に、とても不安なのだと思います。よくわからないことは、不安を増長させます。子供たちだって「新型コロナウイルス感染症」について知りたいのです。「かかるとどうなるのか。」「なんで今学校が休みなのか。」など、分からないことがいっぱいです。これらのことが分かれば、不安は解消(減少)され、「それなら、自分はこうしなければ。」とか「これに挑戦しよう。」という意欲をもちやすくなります。信頼できる大人が、子供たちの不安を聞いてやり、正しい情報で理解させることが大切です。その時、学年に応じてわかりやすく話してあげることも必要になってきます。そのために、私たち大人は正しい最新情報を常に入手し、子供たちを受け入れる準備をしなくてはなりません。「どこのだれが感染したらしい。」などという不確かなデマに振り回され、人権を無視するような言動を囁き立てる側に回ってはいけません。

子供の不安はストレスにつながるのですが、不安な気持ちを表に出せない子もいます。また、大人の大変さを見ていて、自分の気持ちを出すことを遠慮してしまう子供もいます。そういった子は、どんどんストレスをためてしまいます。ですから、大人は、積極的に子供に話しかける、声をかける、子供たちの気持ちを聞く、子供たちに素直に表現できるようにすることが、今、とても必要な時なのです。

でも、お父さん、お母さんの中には、「そんな、子供の質問に全部答えられない。」とおっしゃる方もいるでしょう。そうですね。私たちは専門家ではないので、子供たちの様々な質問に、適格に正しい情報を素早く与えられるわけではありません。でも、正解を教えることが到達点ではないのです。「お母さんはこうだと思うわ。あなたは思うの?」とか、「お父さんはこんな風に考えるけど、どうかな?」という風に、子供と一緒に考えたり調べたりすることが大切なのです。なんといっても子供の考えや思いを否定せずに受け止めてあげる事、それが、安居っ子のお父さんお母さんにできる、最善のことなのです。



この学校だよりは、学校のHP (<http://www.fukui-city.ed.jp/ago-e/>) でご覧になれます。